

平成29年5月26日(金)
建設工業新聞最終面

11月21日に50周年式典

石川県宅建協会が定時総会



石川県宅建物取引業協会が25日、17年度定時総会をホテル日航金沢で開き、創立50周年記念事業として記念式典並びに祝賀会を11月21日に同ホテルで挙げることを報告した。写真。

総会には関係者約160人が出席。吉本重昭会長は1967年に発足し、今年度で半世紀を迎える協会のこれまでの歩みを紹介し、「最大で1100人を数えた会員は少しずつ減ってきている。これからの10年、20年先の将来ビジョンを会員アンケートを基にとりまとめ、11月の式典ではハトマークグループ・ビジョン石川版として発表したい」とあいさつ。

今年度の主な事業では▽石川県空き家総合相談窓口を継続して運営し、空き家対策に係る支援体制を充実▽インスペクション(建物状況調査)の普及等、既存住宅流通市場の活性化につながる施策を推進▽公共事業の施行に伴う代替地等の情報提供及び媒介斡旋▽毎週水曜日の不動産無料相談の継続▽9月23日に「不動産の日」ふれ愛講演会の開催▽10月15日に宅地建物取引士資格試験の実施▽開業支援セミナーの開催▽不動産実務セミナーの開催などを盛り込んだ。同協会の会員数は17年4月1日現在で、正会員871人、準会員89人となっている。